

平成27年度  
決算報告書

第4期

自 平成27年4月 1日  
至 平成28年3月31日

公立大学法人 公立鳥取環境大学

# 平成27年度 決算報告書

公立大学法人 公立鳥取環境大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	823	824	1	
施設設備費補助金	204	148	△56	(注1)
自己収入	750	786	36	
授業料及び入学金、検定料収入	725	755	30	(注2)
財産収入	7	9	2	
雑収入	18	22	4	
受託共同研究等収入	4	5	1	
寄附金収入	746	595	△151	(注3)
補助金等収入	15	14	△1	
目的積立金取崩	131	-	△131	(注4)
計	2,673	2,372	△301	
支出				
教育研究経費	655	504	△151	(注5)
一般管理費	235	179	△56	(注6)
人件費	1,017	944	△73	(注7)
受託共同研究等経費	4	4	-	
寄附金事業費	746	595	△151	(注8)
補助金等事業費	15	14	△1	
計	2,673	2,240	△433	

※金額は百万円単位で表記しているため、合計欄に端数処理の影響が出ているものがあります。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 施設費補助金事業が入札により費用の圧縮を図れたことから不用額56百万円は補助を受けませんでした。
- (注2) 受験者、入学者が想定より多かったことから収入が30百万円増加しました。
- (注3、8) 実験研究棟建築工事の工事出来高が予定より低かったことから支出並びに寄附金の収益化額が149百万円少なくなりました。なお、工事内容、工期(27年4月～28年7月)の変更はありません。
- (注4) 自己収入が想定より多く、支出も少なくなったことことから、目的積立金の収益化は行いませんでした。
- (注5) 施設費補助金事業が入札により費用の圧縮を図れたことから、56百万円の支出が不用となりました。また、運営費全般の節減等により、95百万円の支出が不用となりました。
- (注6) 経費節減に努めた結果、支出が56百万円少なくなりました。
- (注7) 教育職員及び事務職員の予定していた採用を一部行わなかったことなどにより、人件費支出が少なくなりました。

○ 損益計算書と決算報告書の集計区分の差異について

損益計算書では、寄附金及び間接財源を利用する費用は業務費の各区分に計上されていますが、決算報告書では、受託共同研究等経費、寄附金事業費及び補助金等事業費に計上されています。